

# 國立屏東大學 109 學年度日間學士班轉學(暑假)考試試題

系別：應用日語學系 (二年級)

科目：翻譯

※注意事項：

(1)本試題共 2 頁。

(2)不必抄題。請依序將提號標出，寫於答案紙上，否則不予計分。

## 一、中翻日 (8 分×10 題=80 分)

1. 早上明明還是好天氣，下午卻開始下起豪大雨來了。
2. 我是絕對不吃牛肉的。
3. 積沙成塔。
4. 這部小說是作家根據自身旅行經驗，所纂寫而成的。
5. 因新型冠狀肺炎影響，東京奧運將延至 2021 年舉行。
6. 像是車站還有機場這些人多的地方，務必小心注意自己的隨身行李。
7. 明明是冬天，卻像是夏天一樣的炙熱。
8. 我從小到大從來沒有生過什麼大病。
9. 這個餅乾有紅茶的味道。
10. 木村老師在德國的大學，教授日本文學。

## 二、日翻中 (20 分×1 題=20 分)

グローバリゼーションは中国語では‘全球化’と訳される。確かに、字義本来のグローバリゼーションとは、地球が一つの村になる(グローバル・ヴィレッジ)ことだが、それは突拍子もない一大帝国の出現かも知れない。歴史的にも、また将来的にもそのようなことは不可能だと誰もが思うだろう。現実的なグローバリゼーションの行き先は「世界コミュニケーション」、世界をコミュニケーション可能な空間としてとらえることに落ち着くだろう。

富める国をますます富ませ、多国籍企業をますます太らせる、これまでの新自由主義<sup>1)</sup>的グローバリゼーションの時代は、多少とも変わりつつある。反グローバリゼーション運動から生まれたオルター・グローバリゼーション<sup>2)</sup>も後に来るものの一つかも知れない。また、今後のイスラム世界、アジアの動きもあいまって、21世紀の世界はより複雑になるであろう。

1) 政府の民間介入を最小限にして、競争と市場原理を重視する考え。

2) 「オルター (alter)」は「変える」の意味。グローバリゼーションに伴って行われた規制緩和、民営化を見直し、「公共領域」をとらえ直すという考え方。

『教養の日本語』(大野純子著)より